

広報 Koho Gallery  
展示室

第37回

- 秋季特別展 -

浮世絵風景版画の変遷展



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」川崎・砂子の里資料館蔵

青く晴れわたった空に白い雲、そして真っ赤な富士山。一般に「赤富士」と呼ばれるこの「富嶽三十六景 凱風快晴」は、日本で最も有名な浮世絵の風景版画といっても過言ではありません。

この作品は、葛飾北斎によって天保(1830~1844)初期ごろ作成されました。

「赤富士」は夏の季語で、朝日を浴びて富士山の山肌が赤く染まる現象をいいます。青い空に浮かぶ疎密な白い縹雲が、凱風、つまり南風に流されて、深紅の富士山の後ろをゆっくりと移動していく瞬間がとらえられています。

「富嶽三十六景」は、発売当初36枚で完結する予定でしたが、10枚が追加され、合計46枚作成されました。このことから、このシリーズは大変評判が良かったことがわかります。

「富嶽三十六景」の成功の後、北斎は「諸国滝廻り」、「琉球八景」、そして「諸国名橋奇覧」など、風景画の佳作を天保期に発表します。また、北斎に続けと、歌川広重や国芳、国貞も風景画を次々と作成し、風景画は浮世絵市場でその地位を確立することになります。

今回の展覧会では、「赤富士」に加え、「山下白雨(黒富士)」、「神奈川冲浪裏(大波)」など、「富嶽三十六景」から前期後期合わせて5点出品します。また、ゴッホが模写したことで知られる広重の「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」や

「同 大はしあたけの夕立」など、風景版画の名品がたくさん出品されますので、この機会にぜひ美術館に足をお運び下さい。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 長井裕子

【会期】

前期：～10月19日(日)

後期：10月24日(金)～11月24日(月祝)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

11月1日(土)午後1時30分～ 当館学芸員

【記念講演会】後期：11月9日(日)

午後1時30分～ 講師：市川信也

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。お子様(中学生以下)連れのご家族は入館料が無料になります。

【開館時間】 午前9時30分～午後5時まで

(ただし、入館は4時30分まで)

ミニギャラリー  
作品募集!

あなたの作品をここに出品してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ：企画財政課

☎0287-92-1114

入選「里の祭り」

久保庭隆夫さん(茂木町)



ミニ  
ギャラリー

平成19年度  
ばとうの観光  
写真コンテスト  
受賞作品



入選「静かな朝」

小町隆義さん(大田原市)